

HSK

なんれん と か ち

No.45

昭和48年1月13日 第三種郵便物認可
HSK通巻第408号

2006年3月10日発行
毎月10日発行 (一部100円)
(会費・協力会費に含まれています)

編集 (財)北海道難病連十勝支部
発行 北海道身体障害者団体
定期刊行物協会 (HSK)

- ☆ 2005年度活動報告
- ☆ 道東地区役員研修会の報告
- ☆ 部会活動報告
- ☆ 事務局便り



玉川正雄先生作
(財)北海道難病連十勝支部

目 次

1. 道東地区役員研修会に参加して…………… 2 P
2. パーキンソン病友の会帯広ブロック新年交流会 …………… 3 P
3. 平成17年度各部会活動報告…………… 5 P
 - パーキンソン病 …………… 5 P
 - あすなろ会・二分脊椎症 …………… 7 P
 - 腎友会・後縦靭帯骨化症 …………… 8 P
 - 膠原病・小鳩会 …………… 9 P
 - 脊髄小脳変性症 …………… 10 P
 - リウマチ会 …………… 11 P
4. 平成17年度活動報告…………… 12 P
5. 拡大役員会・講演会のお知らせ…………… 14 P
6. 帯広市の障害者などのタクシー料金助成について …… 16 P

☆表紙の絵について☆

表紙には、パーキンソン病の玉川正雄よりだるまの絵を掲載させていただきました。

玉川さんはオカリナ奏者本谷さんの演奏の感化もあって、四国八十八箇所巡行お札所にある佛像の御神体をA3版画用紙に半年要し、更に創造だるま画100枚墨絵で描き続けました。今は、NHK文化教室の中国水墨画に学びハビリにと今日に至っています。

※パーキンソン機関誌第47号より一部抜粋

辞任のご挨拶

前支部長 山崎富士夫

私は、2006年1月17日付、北海道難病連道東地区の理事及び、十勝支部支部長とその役職に関連する役員を辞任したい旨、北海道難病連の代表理事である伊藤たてお氏に届け出ました。

辞任の理由は、地域共同作業所ふれあいデジタル工房の運営をめぐって、本部及び支部の役員会に、必要な時期に必要な協議の場を設けずに、NPO法人化の手続きを進めたことにあります。本部の助言を得て、すべてを白紙にもどしましたが、この件で混乱を招いた責任の大きさを感じ、自ら辞任することに致しました。

ここに約十年間に及ぶ支部役員の間中、役員の皆様はじめ、会員の皆様に多大なご支援をいただきましたことに、厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

今後は、小鳩会の会員のひとりとして障害者の問題にかかわって行く所存です。

道東地区役員研修会に参加して

二分脊椎症 加藤 富江

2006年2月25日(土)・26日(日)十勝川温泉笹井ホテルにおいて道東地区9支部の役員研修会が行われました。十勝支部からも11名参加総勢53名の参加がありました。

一日目 音更町役場福祉課主任堀田さんの障害者自立支援法についての講演に続いて本部小田さんからの社会保障・医療制度についての説明がありました。障害者自立支援法とは、『どの障害者も同じ制度のもと地域で自立した生活を』障害者自立支援法について何回となく説明を受けているのですが、いまだ良くわかりません。

二日目 ビデオ学習は「ピア・カウンセリング入門」のビデオを見ました。谷口明広さんの(脳性マヒ、四肢および体幹機能障害で車いすを使用)語り上手な講演に引き込まれました。谷口さんの自立論の最大のポイント「あなたがどういうふうに生きていきたいのか、どんな人生をおくりたいのかが大切なんだよ」「何のために生きるのか、小さくてもよいから目的意識をもとうよ」です。

楽しくて、わかりやすい講演内容に睡魔にも邪魔されずとても良いビデオ学習でした。次期開催支部 厚岸・浜中支部です。

北海道難病連道東地区役員研修会に参加して

リウマチ部会 田中 弘子

2月25～26日難病連音更支部主催で十勝川温泉笹井ホテルで開かれた。来賓の帯広保健所次長小原一義氏、音更収入役奥山政則氏の挨拶の後9支部53名が「障害者自立支援法・自立支援医療について」音更町役場福祉課主任堀田昇氏が、説明し、パンフを見ながらポイントを学んだ。

10分休憩後、「社会保障・医療制度について」道難病連事務局長小田隆氏が、資料を見ながら説明された。ビデオを見ながら説明されると、理解しやすいのではないかと思う。

私は1日の参加だったので、2日目のビデオ学習「ピア・カウンセリング」が好評だったのを、後から聞いてとても残念だった。

平成16年度から愛知淑徳大学医療福祉学部福祉貢献学科教授に就任し教育者として、またピアカウンセラーとして幅広い活動をしておられる谷口明先生の歩んでこられた自立論と講演に感動したということだった。

資料によると先生は生後まもなく重症黄疸のため脳性まひになり車椅子使用になる。

京都では入れる学校がなく、1年遅れて大阪の養護学校に入学、高等部に進み、障害者に門戸を開いていた大学へ進学。

卒業後、同志社大学に進み、2年次に障害者米国留学研修制度に合格、米国バークレー市にあるCILで自立生活概念やアテンダント制度を学び、1984年4月修士課程を修了したと同時に、自立生活問題研究所を設立された。

NHKラジオ「ともに生きる」のコメンテーターとして幅広い活動をしておられる。

なぜ、長々と書いているかというと、今年の全道集会在、8月帯広で開かれ、全体会が3人のシンポジウムの予定ということだからだ。

昨年の日本ハム観戦に比べると、聞くのはとても疲れる。だから3人の討論の合間にビデオを見生きる力を得、帯広に行ってよかったという大会にしてもらいたいからだ。

第33回全道集会

十勝大会の成功を願いつつ・・・・・・・・。

パーキンソン病友の会帯広ブロック

新年交流会開催される！

パーキンソン病部会 山根 静子

2月5日（日）パーキンソン病友の会帯広ブロックの会員・家族の新年交流会が十勝川温泉国際ホテル筒井に於いて、41名参加し盛大に開催されました。

司会者の山根静子事務局長の挨拶と、昨年亡くなられた会員（3名）への黙祷が行われた後、新入会員4名の紹介と昨年取り組んできた楽しかった、日帰り旅行や丸瀬布町（マウレ山荘）の一泊旅行、北海道難病連主催の難病患者・障害者と家族の全道集会、札幌ドームでの野球観戦などを上げ、参加者一同思い出を振り返りました。

続いて主催者を代表して、板谷弘会長から、今日まで取り組んできた諸行事に多くの会員・家族が参加されて頂いた御礼を述べられた後、「医療改革」「介護保険」問題や「帯広市長への要請書」について取り組みの報告がなされました。

そして今日は久々にお会いした仲間同志美味しい料理とお酒でゆっくりと楽しんで下さいと挨拶がなされました。

来賓の紹介で難病連から成田事務局長さん等3名、参加予定でした市原市議の紹介、続いて玉川正雄さんの乾杯の音頭で祝宴に入りました。

会食中では、事務局より多くの会員からの御寄付（10名）の紹介と御礼、今後の行事予定、会報「はまなす帯広」50号となるため、多くの原稿を募っておりました。

宴会が盛り上がってきた頃、参加者が持ち寄った景品をビンゴゲームで楽しみ、その後は月2回のカラオケ同好会で馴染んだ「喉」を披露して楽しみました。

又会場には、玉川さんの作品であります水彩画や水墨画、約30点余りが飾られ、その見事さに参加者一同目を配っておりました。

新年会の最後は、塚本忠雄さんの一本締めでビシッと決まり、楽しい一時を過ごしました。

リウマチ部会報告

1 市民公開講座

関節リウマチ治療薬「リウマトレックス」の副作用で100人以上が死亡し問題になっている折、開かれました。講座は非常に有意義でした。分会は自助具の展示をしました。

2 総会

16年度事業報告・会計報告・17年度事業計画・監査報告の後、介護保険制度について谷口和弥氏にお話を聞きました。介護保険制度のあらましについてわかりやすく、お話して下さったので良かったです。この後、昨年の絵手紙作りの写真が新しく作るようになった日本リウマチ友の会のパンフレットに、採用されることになったことを喜びつつ七変化帽子を新聞で作りました。帰ったらお孫さんに作ってあげようと好評でした。

3 交流会

5～10月北海道ホテル・1～3月ホテルノースランド第4日曜日いつも12～16名の参加がありおいしいものを食べ自由に話し合いストレス解消と明日へのエネルギーを培っています。そのことが日本ハム観戦11名・十勝支部合同レク13名参加と仲間作りにつながりました。

4 日本リウマチ友の会入会のおさそい

に十勝分会の写真のる

4/6 東京本部より電話があり「今年日本リウマチ友の会の入会のおさそいを新しく作ることにした。道の機関誌の十勝分会の絵手紙の写真がとっても良いので使いたい。写真を送ってほしい」とのこと。行き違いがあったが写真を送付。おさそいに載った写真には今はなき青山章子さんものっていてお元気だった頃がしのべれます。



平成17年度各部会活動報告

パーキンソン病友の会帯広ブロック

日 時	行 事 内 容	場 所 等	参加人員
05/04/28	北海道ブロック会議（札幌）		6名
04/29	北海道支部第29回総会（札幌）		6名
05/15	第13回帯広ブロック総会（とかちプラザ）		35名
05/23	医療講演会（リハビリについて、島田勝規先生とかちプラザ）		40名
05/26	第1回役員会（会報47号、日帰り旅行）		16名
05/26	オストミー設立総会（総合福祉センター）		1名
05/30	難病連十勝支部総会（とかちプラザ）		4名
06/07	難病連会計引き継ぎ		1名
06/09	支庁保健課会議（特定疾患）		1名
06/10	会報・・・はまなす帯広47号発行		15名
06/16~17	パーキンソン病友の会全国大会		1名
07/02	パーキンソン病友の会北海道支部役員会、北海道難病連理事会		1名
07/4~5	一泊研修旅行（層雲峡、旭山動物園）		22名
07/10	日帰り旅行（士幌、山の湯温泉）		31名
07/23	パーキンソン病友の会釧路ブロック医療講演会		2名
07/25	保健所主催特定疾患交流会（鹿追）		1名
07/26	保健所主催特定疾患交流会（広尾）		2名
07/29	保健所主催特定疾患交流会（池田）		1名
08/6~7	北海道難病連全道大会（札幌）		13名
08/18	清水市議と難病連打ち合わせ		1名
08/29	第2回拡大役員会（会報48号、日帰り旅行）		20名
09/06	保健所主催、特定疾患、患者・家族学習交流会		9名
09/07	北海道難病連役員と保健所等挨拶回り		1名
09/8~9	パーキンソン病友の会北海道支部役員会		1名
09/14	会報・・・はまなす帯広48号発行		8名
09/16	パーキンソン病友の会北海道支部ブロック会議		2名
09/17	北海道難病連理事会		1名
09/18	難病連十勝支部合同レクリエーション		4名
10/26~27	一泊研修旅行（丸瀬布町、マウレ山荘）		21名

11/07	清水道議打ち合わせ（難連十勝4役）	1名
11/18	第3回役員会（会報49号、新年会、正月飾）	10名
12/03	第4回拡大役員会	20名
12/03	帯広市介護福祉課打ち合わせ	1名
12/05	帯広市介護福祉課交渉（介護タクシー）	4名
12/06	帯広市保健福祉部打ち合わせ	1名
12/12	帯広市介護福祉課交渉（介護タクシー）	4名
12/13	はまなす帯広印刷	2名
12/14	会報「はまなす帯広」49号発送	10名
12/14	北海道難病連全道集会準備委員会	1名
12/18	北海道難病連クリスマスパーティ	1名
12/21	パーキンソン病友の会北海道支部役員会	1名
12/28	帯広市介護福祉課交渉（介護タクシー）	4名
01/14~15	北海道難病連合同研修会（定山溪）	1名
01/19	帯広市福祉課と難連十勝役員打ち合わせ	4名
01/20	第5回役員会（新年会、介護タクシー、会報50号）	11名
01/25	帯広市長へ要請文渡しと交渉	8名
02/04	北海道難病連理事会	1名
02/05	帯広ブロック新年会（十勝川温泉国際ホテル筒井）	41名
02/05	帯広ブロック一泊交流会（同上）	21名
02/16	帯広市役所介護課、支庁保健課打ち合わせ	2名
02/18~19	全国パーキンソン病友の会本部役員会	
02/19	JPA全国集会（晴美グランドホテル）	
02/25~26	難病連道東地区役員研修会（笹井ホテル）	
02/28	第6回役員会（第14回総会、介護タクシー）	
03/07	会報「はまなす帯広」50号発行	
03/21	北海道難病連全道集会第1回実行委員会	
03/23	市長要請文回答予定	
03/25	帯広市福祉課との交渉予定	
	カラオケ交流会 年21回	

※他に保険所等の行事参加しております。

あすなろ会（個人参加難病患者の会）

日 時	行 事 内 容	場 所 等	参加人員
4月24日	定期総会		25名
4月24日	医療講演会	ソーシャルワーカー 広岡篤氏	30名
8月7日	医療講演	回明堂眼科 西野和明氏	35名
10月23日	医療講演	田代邦雄氏	30名
4月・7月・9月・2月	理事会		1名
4月・10月	交流会		30名
5月14日	(財)北海道難病連総会		3名
8月6日~7日	第32回(財)北海道難病連全道集会(札幌)		40名
10月8日	JPC 国会請願署名と募金、街頭行動		2名
12月18日	チャリティークリスマスパーティー		15名
1月14日~15日	札幌支部役員研修会		4名
3月5日	チャリティーバザー		4名
3月・12月	実務担当者会議		2名
4月・10月・2月・3月	事業資金委員会		2名
6月・8月・9月・10月	役員会		6名
11月・2月・3月	役員会		6名
6月・9月・11月・3月	会報 4回		6名

二分脊椎症

日 時	行 事 内 容	場 所 等	参加人員
4月2日	30周年にむけて打ち合わせ		2名
4月16日	30周年式典及び総会に参加		2名
9月6日~7日	肢体不自由児者療育キャンプ参加		3名
9月18日	十勝支部合同レクリエーション参加		2名
10月8日	道肢連全道大会（旭川）参加		3名
10月22日	地区交流会（旭川）参加		2名
H18年2月18日	青年部交流会（札幌）		1名

腎友会

日 時	行 事 内 容	場 所 等	参加人員
4 月	第 2 1 回定期総会医療講演講師 北大泌尿器科 森田 研先生 演題「今日の移植医療について移植経験者の話もまじえて」		
5 月	第 1 回三役会議 第 1 回幹事会		21 名
6 月	パークゴルフ大会		
7 月	厚生医療見直しに対するハガキ活動 機関誌・花時計の発行		
8 月	第 2 回幹事会 帯広市障害福祉課訪問「陳情・要望活動」		20 名
9 月	全国一斉街頭腎キャンペーンの実施 ポスフル店内		
10 月	自立支援医療見直し反対のハガキ活動 ボーリング大会		
11 月	国会請願署名・募金の活動 しめ飾り販売活動「北海道難病連」 第 3 回幹事会 国民医療推進協議会からの署名活動		23 名
12 月	事務局会議		
1 月	新年会		

後縦靭帯骨化症

日 時	行 事 内 容	場 所 等	参加人員
17年9月4日	医療講演会・交流会とかちプラザ 北大病院整形外科 小谷 善久先生		32 名
17年6月5日	部会支部の会報発行 (1号)		
17年11月8日	部会支部の会報発行 (2号)		
17年4月	募金箱の設置 ①JA 木野ハピオ店・②いちまる音更店・③ツタヤ書店音更店		
	その他 JPC 街頭署名募金活動に参加 十勝支部		
	支部会議 6回		

膠原病友の会帯広地区

日 時	行 事 内 容	場 所 等	参加人員
4月13日	機関誌「あゆみ」印刷・製本	帯広市役所、とかちプラザ	2名
5月12日	交流会 活動報告・会計報告・役員改選・活動方針	ガーデンズホテル 2F レストランガーデンズカフェ	7名
6月4日・5日	膠原病友の会北海道支部総会	北海道難病センター(札幌)	2名
7月21日	映画鑑賞会シネマ太陽帯広	7F	3名
9月28日	美術鑑賞会・交流会	帯広美術館・小麦の木	4名
1月21日	カラオケ交流会	ホテルパコ帯広 13F タイムゾーン	10名
3月	機関誌「あゆみ」製作に入る		

小 鳩 会

日 時	行 事 内 容	場 所 等	参加人員
3月6日	ふるさと花コン播種		22名
4月20日	総会		10名
5月14日	ふるさと花コン花壇作り		23名
7月24日	親睦会		36名
10月16日	救命救急講習会		23名
12月18日	クリスマス会		75名
18年2月26日	スポーツ大会(ボーリング)?		
年間を通じて実施している活動			
月2回	幼児リトミック		
5月~10月まで月2回程度	乗馬		
5月~9月まで年5回実施	すこやか農園		

北海道脊髄小脳変性症友の会ととかち連絡会

日時	行事内容	場所等	参加人員
17年2月2日	今後の運営について 交流会の日時、交流会の運営方法と、係り分担 17年度役員、運営について、患者相談		
3月21日	新聞社集材願い、各準備、とかちプラザにて交流会 北海道脊小の総会についてと、サマリ 反省会、次回の打ち合わせ		
4月23日	道に年間行事、交流会書発送 北海道脊髄変性症友の会総会		
5月14日	交流会準備、分担、新聞社集材願い、各準備 ボランティア保険加入、患者相談		
6月19日	とかちプラザにて交流会 全道集会についてと、サマリ、反省会		
8月6日、7日	全道集会		
8月22日	講演会の準備開始、依頼書、資材の確認 十勝支庁に理学療法士の依頼書提出		
8月末	各施設のラベル製作		
8月30日	各施設に発送・御依頼書・患者相談		
9月2日	後押し依頼文と広告等の各施設に配布 場所借り書確認		
9月9日	場所依頼文書き換え提出・道脊小に連絡日時確認		
9月15日	木野コミセンで準備会議		
9月24日	釧路脊小に連絡		
9月25日	道脊小に再度確認連絡 十勝支庁で講演内容確認、福祉センターの確認		
10月3日	名簿の確認		
10月7日	保健師の依頼、送迎の確認・プログラム製作		
10月9日	脊髄小脳変性症講演会		
10月中頃	釧路脊小講演確認		
10月22日	釧路脊髄小脳変性症講演会		
1月21日	北海道脊髄小脳変性症新年会		
3月7日	脊小とかち事務所移動(徳洲会病院内)準備		

リウマチ部会

日 時	行 事 内 容 場 所 等	参 加 人 員
4月3日	市民公開講座「リウマチ治療の最前線」 道新帯広支社 北大大学院医学研究科第二内科 小池隆夫教授	
4月29日	総会・介護保険制度について 介護ショップあじさい所長 聞折り紙 七変化帽子作り 十勝プラザ	10名
5月22日	交流会 北海道ホテル	
6月4日	拡大委員会 岩見沢	
6月5日	支部総会・医療講演会 「関節リウマチ～治療、 副作用とその対策～骨粗鬆も含めて」	
6月26日	交流会 北海道ホテル	
7月24日	交流会 北海道ホテル	
8月6日	難病患者・障害者と家族の全道集会 札幌	11名
8月7日	分科会医療講演 「放っておくと怖いリウマチ」	
8月28日	交流会 北海道ホテル	
9月18日	十勝支部合同レクレーション 筒井ホテル	13名
9月25日	交流会 北海道ホテル	
10月23日	交流会 北海道ホテル	
12月3日	ひまわりの会と合同忘年会 北海道ホテル	16名
1月22日	交流会 ホテルノースランド	16名
2月26日	交流会 ホテルノースランド	12名
3月26日	交流会 ホテルノースランド	
役員会	9回	

事務局だより

17年度活動報告

☆ 役員会			
5月14日 ～15日	(財)北海道難病連総会	難病連(本部)	3名
5月16日	臨時役員会	支部事務所	13名
5月29日	支部拡大役員会	とかちプラザ	14名
6月12日	役員会第1回	支部事務所	12名
8月21日	役員会第2回	支部事務所	13名
11月14日	役員会第3回	支部事務所	11名
1月10日	役員会第4回	支部事務所	13名
1月12日	役員会第5回	とかちプラザ	13名
1月17日	役員会第6回	総合福祉センター	12名
1月28日	役員会第7回	とかちプラザ	24名
3月5日	役員会第8回	支部事務所	10名
☆ 諸活動・講演会・研修会・その他			
5月28日	オストミー講演会	総合福祉センター	3名
7月25日	帯広保健所特定疾患 医療受給者証更新時相談会	鹿追トリムセンター	4名
7月26日	帯広保健所特定疾患 医療受給者証更新時相談会	広尾健康管理センター	6名
7月28日	帯広保健所特定疾患 医療受給者証更新時相談会	足寄町民センター	4名
7月29日	帯広保健所特定疾患 医療受給者証更新時相談会	池田保健センター	3名
8月6日・7日	全道集会参加	札幌ドーム	42名
8月30日	家庭看護普及教室 「災害図上訓練 DIG 研修」	とかちプラザ	5名

9月04日	後縦靭帯骨化症友の会 医療講演会	とかちプラザ	3名
9月06日	特定疾患患者・家族学習交流会	十勝支庁	6名
9月11日	十勝支部合同レクレーション	筒井ホテル	30名
10月09日	JPC 街頭署名キャンペーン	藤丸前	5名
11月	お正月飾り販売		
12月14日	全道集会実行委員会	とかちプラザ	32名
2月25日・26日	道東地区役員研修会	笹井ホテル	
3月21日	全道集会実行委員会	とかちプラザ	

7月10日	機関誌発行十勝支部(1050部)	デジタル工房	
3月10日	機関誌発行十勝支部(1050部)	デジタル工房	
8月・02月	募金箱回収		

募金箱 設置

茂古沼商店・ワインプラザカワイ・珈琲屋かぜ・ワイン城レストラン
モミの木・ダイイチ西8条店・中村洋品店・(財)難病連十勝支部

寄 付

加藤定雄様・山崎様・佐藤様・上田様
NPO 法人障害者・児 尚之基金様 匿名様

募金箱、寄付ご協力ありがとうございました

事務所

火曜日～土曜日、Am10:00～Pm17:00迄

(財) 難病連十勝支部 拡大役員会・講演会のお知らせ
デジタル工房

日 時 2006年5月21日(日曜日)
9:30～ 受付
10:00～ 拡大役員会
場 所 とかちプラザ 研修室306号室
帯広市西4条南13丁目 Tel.0155-22-7890

講 演 13:30～ 受付
14:00～ 研修室306号室

演 題 「自主防災について」



講 師 帯広市役所庶務課防災主幹 柴田 勝 氏

講演会には難病連会員・家族・一般の方のご出席をお待ちしています。
講演に出席ご希望の方は、5月15日までにご連絡ください。
連絡先：(財) 難病連十勝支部事務所

火曜日～土曜日 10:00～17:00

電話 (0155) 23-6602 FAX (0155) 23-7071

難病連十勝支部参加のリサイクルバザー
はしばらくお休みしておりましたが、今年
より再開することになりました。

皆様のご家庭で眠っている贈答品等ござい
ましたらご協力お願い致します。

詳しくは十勝支部事務所までお問い合わせ下さい。

火曜日～土曜日 10:00～17:00

電話 (0155) 23-6602 FAX (0155) 23-7071

お知らせ



※日本難病疾病団体協議会の略称決まる※

患者・家族団体協議会（JPC）と旧全国難病団体連絡協議会（全難連）が29日組織統合をして「日本難病疾病団体協議会」となりましたが、この程次のように決まりました。

新略称は J P A

JAPAN (日本)
PATIENTS (患者)
ASSOCIATION (連合)



橋本病・肝炎特定疾患打ち切り

2005年10月、経費削減の方針の中、道単独事業の橋本病・肝炎に対して医療費の見直しの対象に・・・特定疾患助成が打ち切られる結果になりました。

(財)北海道難病連と各部会・各支部と要望書・陳情書などを国会議員、知事様へ提出等活動しましたが、残念ながら駄目でした。各難病患者・重度心身障害者の方々の医療費負担増の波及も懸念されます。難病対策、原因究明や治療法を1日も早く確立されますように、患者同士が結束して根気強く活動を続けることが大切であることを痛感しました。

高齢化社会に向かっている今日、充実した社会保障・福祉社会を実現する事と共に連携されていくものと思います。

皆様お身体を守りながら自分なりに一日一日を過ごしていきましょう。

帯広市の障害者などのタクシー料金助成について

毎日新聞

2006年(平成18年)3月7日(火曜日)

(22)

帯広市の障害者などのタクシー料金助成	
現行	改正案
身体障害者手帳をもち 下記に該当する者 ・下肢障害1級・2級 ・体幹機能障害1級・2級 ・視覚障害1級 ・内部障害1級 ・下肢障害3級・4級または 体幹機能障害3級かつ 上肢に障害を有する 肢体不自由1級・2級	①重度の身体障害者 2948人 ②重度の知的障害者 (療育手帳A) 238人 ③重度の精神障害者 (精神障害者保健福祉 手帳1級) 77人 ④難病患者の重症者 (重症患者として認 定を受けた者) 141人 ⑤要介護度3以上 1203人
計2948人	計4607人

来月から難病患者と知的・精神障害者も

重度身体障害者に限られていた帯広市のタクシー料金助成事業が4月から、知的・精神障害者やパーキンソン病などの難病患者も利用できるようになる。制度改正に伴い、対象者も現在の約6割増の4607人に拡大。所得制限が加えられるものの、難病患者を言ものは道内でも珍しく、関係者から歓迎の声が広がっている。(栗田直樹)

市のタクシー料金助成拡大

「光当たった」対象者歓迎

「車を運転できるのは一握り。バス停まで長時間待つことが苦手な人も多い。助成拡大は大変ありがたい」。知的障害者が多くはまず共同作業が楽にできる。帯広市手まつりや育成会の畑中三郎子会長は語る。知的障害者は新たに対象となる障害者では最も多い238人になる。

今回の改正の大きな特徴は、難病の重症患者(141人)が対象になったことだ。

北海道難病連による「タクシー券支給による難病者の移動支援を実施する市町村は「道内で聞いたことがない」という。同会北海道支部最長を務める山根隆司帯広ブロック副会長は「タクシー

市保健福祉部によると、改正は身体・知的・精神の3障害のサービスを二本化する障害者自立支援法の4月施行に合わせた措置。所得税非課税世帯に、タクシー券(200円)を毎月5枚、年間1万2000円分を支給する。従来は下肢障害1・2級や視覚障害1級などの重度身体障害者に限られていた。

全国パーキンソン病友の会帯広ブロック(板谷弘会長、会員52人)が1月末、砂川敬支市長に要請を出したことがきっかけ。同病は手足の震えや動作が遅くなる進行性の難病。症状悪化を防ぐため、医師の指示のもと一般施設でリハビリなどと発声訓練を行っているが、移動は自己負担で支援制度がなかった。

(財) 難病連十勝支部

患者・家族の皆様如何お過ごしでしょうか。

十勝支部も今年で設立28年目を迎える事になりますが、此れも先輩役員皆様方の貢献や努力、会員皆様のご協力で支部を継続する事が出来る事を心から感謝致しますと共にお礼を申し上げます。

平成18年「医療制度改革」「障害者自立支援法」等、直接患者、家族に経済的に負担増となる諸問題「道財政立て直しプラン」により道助成金25%削減で運営上に重大な影響を及ぼし縮小予算での活動にならざるを得ません。

十勝支部、地域部会と共にお互い情報交換を深めながら、前向きに一日一日を大切に明るく生きていきましょう。

(財) 難病連十勝支部 地域部会

- | | |
|-------------|----------------|
| (1) パーキンソン病 | (2) 腎友会 |
| (3) リウマチ友の会 | (4) 二分脊椎症 |
| (5) 膠原病 | (6) 脊髄小脳変性症友の会 |
| (7) 後縦靭帯骨化症 | (8) 小鳩会 |
| (9) プラタナスの会 | (10) クロウン病友の会 |

今年もご協力ご指導の程宜しくお願いいたします。

7つのスローガン

- ☆国と道は、原因の究明と治療法の確立を急いでください!!
- ☆全ての難病の治療を公費負担にして下さい!!
- ☆介護手当での支給と通院交通費、付添費の補助を!!
- ☆患者、障害児者の教育の選択権を親と子に!!
- ☆医療過誤、薬害を無くし被害者救済を!!
- ☆北海道の総合的な難病対策の確立を一日も早く!!
- ☆広く道民と手を結び明るい福祉社会を実現させよう!!

..... HSK なんれんとかち45

第三種郵便物許可 昭和48年1月13日 2006年3月10日 通巻第408号
編集人 (財)北海道難病連十勝支部 事務局長 成田 愛子
帯広市西5条南13丁目19-2 Tel:0155-23-6602 FAX:0155-23-7071
発行人 北海道身体障害者団体定期刊行物協会 細川 久美子

特定非営利活動法人

なおゆき基金 ビリーフ

なおゆき基金ビリーフ事業の目的

この法人は、障害者(児)・老人及び更正施設等の福祉を増進しようとする団体個人への活動支援を行うとともに、障害者(児)・老人等にたいして、居宅支援サービス・居宅介護支援サービス等の福祉に関する事業を行い、地域社会の福祉の増進に寄与することを目的とする。



支援事業内容 ①

指定居宅介護支援事業所 ビリーフ

介護指定された方の介護サービス計画書(ケアプラン)を作成いたします。作成は介護支援専門員(ケアマネージャー)が家族や本人と相談し安心して生活できる様に計画致します。指定介護事業所等の相談にも対応いたします。



支援事業内容 ②

指定訪問介護事業所 ビリーフ

介護保険対象者にあわせたサービスを訪問介護員(ヘルパー)が直接自宅へ訪問し、下記の事業を行います。災害発生時は安否確認をいたします。

内容 身体介護

入浴介護・排せつ介護・食事介護
体位変換・通院介助・散歩・安否確認

生活援助

調理・洗濯・掃除・買い物

支援事業内容 ③



指定支援費居宅介護事業所 ビリーフ

身体障害者居宅介護
知的障害者居宅介護
児童居宅介護

支援費居宅介護受給対象者にあわせたサービスを訪問介護員(ヘルパー)が直接自宅へ訪問し、下記の事業を行います。

内容 身体介護

入浴介護・排せつ介護・食事介護
体位変換・通院介助・散歩・安否確認

生活援助

調理・洗濯・掃除・買い物

みみずくの会

※支援費・介護保険から除外されるサービス。ガイドヘルプ・観光・リハビリ・イベント・親類、知人、友人宅その他・病院等の付添・話相手・除雪・排雪・営業の手伝・窓拭き等除外されるサービスにつきましては『みみずくの会』にご相談下さい。

【事務局】 帯広市西16条南6丁目11番9号

電話:0155-41-0121 FAX:0155-41-0124 休日等転送電話:090-1647-0547
E-mail naoyuki@octv.ne.jp ホームページ <http://www.naoyukikikin.com>